

プロフェッサー講座

受講生募集案内



講座 No.	テーマ	講師名	講座概要
1	より良い人間関係 「マネジメント」	根上 明 玉川大学 教授	課題解決に焦点が当たりがちな昨今ですが、今一度信頼関係づくりに注目して、職場や家庭、人付き合いで応用できるコミュニケーションを体験的に学び、上手くいくようになんとかするコツを手に入れましょう。
2	大人も楽しい「児童英語」 ～英語教育の今後を知る～	松香 洋子 放送大学 講師	毎回楽しく体験できる講座です。内容は日本全国の公立小学校で実施されている外国語活動の現状や今後の展望、幼児から始まる児童英語教育、フォニックス、聞く話すための活動から将来の入試改革まで含めます。
3	「旅」の歴史と「観光」政策 ～観光立国から観光大国へ～	國分 浩 駒沢女子大学 教授	近年外国人観光客が急増しています。外国人観光客の増加は日本にどのような影響をもたらすのでしょうか！
4	「山菜」の食文化 ～見直そう自然食材・山野草～	杉浦 孝蔵 東京農業大学 名誉教授	人間と山菜とのかかわりは、人間の誕生以来と推察されます。現代社会の人々の健康、食生活そして地域振興から、山菜を見直しましょう。
5	遙かな「宇宙」 ～観測で深まる宇宙の謎～	平林 久 JAXA (宇宙航空研究開発機構) 名誉教授	観測によって、宇宙の理解は驚くほどに進んでいます。なかでも電波で輝く異質な宇宙から始まって、不思議な宇宙にいきないます。
6	未来の「治療」に向かって ～細胞レベルから 遺伝子レベルまで～	【前編3回】 多賀谷 光男 東京薬科大学 教授	生命科学の基礎を学びます。細胞内の「物流システム」と、その破綻による疾患についてもお話しします。
		【後編3回】 柳 茂 東京薬科大学 教授	ミトコンドリアと、老化疾患との関係について紹介し、癌の本質とは何か、天才脳と精神疾患との関係について解説します。

募集期間 平成28年1月15日(金)～先着順

※ 1月31日(日)の講座紹介イベント会場での申込みも可能です。

プロフェッサー講座は先着順受付ですが、紹介イベント終了時に満員となった講座のみ、紹介イベント後に抽選を行います(抽選の有無はHPで報告します)。その他の講座につきましては、先着順で定員になり次第締切ります。

※受講決定通知書・振込用紙は3月上旬に郵送いたします。

【問合せ先】 いなぎICカレッジ事務局(稲城市教育委員会 生涯学習課)

〒206-0803 稲城市向陽台4-6-18 城山体験学習館内

tel.042-370-2822 fax.042-379-3665

受付時間(火曜日～金曜日)10時～16時

いなぎICカレッジホームページ <http://www.inagiic.net/>

心と気づくと目の前にある課題を解決する「能率や効率」を重視している自分に出会うことはありませんか？もしかしたら課題を解決するために一番大切な信頼関係づくりを忘れていませんか？物事がうまくいくようになんとかする考え方と技法について、いろいろな体験活動を通して一緒に学んでいきたいと思えます。

日程	講座内容
第1回 4/9(土)	学びの環境づくり 学びは社会的なものです。協同して学ぶ環境を創ります。
第2回 5/14(土)	言語コミュニケーション 信頼関係づくりの第一歩は会話から、その仕組みを体験的に学びます。
第3回 6/11(土)	非言語コミュニケーション 信頼関係づくりには、言語以外のコミュニケーションも大切です。
第4回 7/9(土)	知識創造モデルと質問力 質問力で暗黙知→形式知の変換を進めて信頼関係を創ります。
第5回 8/6(土)	協同作業と目標の共有 協同作業に欠かせない信頼関係と協同の精神。
第6回 9/10(土)	まとめ この講座で手に入れた知識や気づきを実践しましょう。

※学習者と一緒に双方向で作っていきたいと思っていますので、講座内容は変更する場合があります。

- 曜日 土曜日
- 時間 10:00～11:30
- 受講料 4,000円
- 会場 i プラザ
- 定員 40名
- 単位数 1単位

講師 Profile

根上 明(ねがみ あきら)

1983年玉川大学農学部農学科を卒業。エレクトロニクス関連商社を経て、1994年起業。2009年より北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科に進学し、サービスについて学ぶ。2006年より玉川大学で非常勤講師を務め2015年より工学部マネジメントサイエンス学科に所属。人の役に立つこと、人を支援すること、互いに価値を創る関係づくりに興味をもち学修中。

日本のグローバル化の大きな流れの中で、幼児から12歳までの子どもを対象とした児童英語教育は広く一般的に実施されるようになりました。それとはひと味違うのは、公立小学校で実施されている外国語活動、英語教育です。本講座では、体験型でその両方を学んでいただくと共に、2020年にむけて実施される予定の英語教育大改革についても学んでいきます。毎回アクティビティー満載の楽しい講座です。

日程	講座内容
第1回 4/9(土)	公立小学校の英語活動 稲城市立若葉台小学校で実践した英語活動をふりかえりながら、これからの公立小学校での英語の必修化、低学年化について体験します。
第2回 5/14(土)	フォニックスとは？ 子どものための文字指導として広く普及しているフォニックスを基礎から実践まで、楽しく、体験的に学んでいきます。
第3回 6/11(土)	子どもと英語 英語環境がない日本の中で、幼児、子どもはどのようなプロセスを踏んで英語を習得していくのかを体験的に学びます。
第4回 7/9(土)	聞くと話すの発展 英語は聞くだけで話せるようにはなりません。それではどのようにしてこの2つの大切なスキルを育てればいいのか？読み、書きの前に必要なことを学びます。
第5回 8/6(土)	児童英語と入試改革 日本政府は2020年にむけて大学入試をはじめ、全ての英語入試を改革すると言っています。それが児童英語とどのようにつながるかを学びます。
第6回 9/10(土)	バナナじゃなくてbanana 最終回は、受講生の皆でそれまでに学んだ子どもが好きなアクティビティーを楽しみましょう。

- 曜日 土曜日
- 時間 13:30～15:00
- 受講料 4,000円
- 定員 40名
- 会場 i プラザ
- 単位数 1単位

講師 Profile

松香 洋子(まつか ようこ)

外国語としての英語教育修士、放送大学免許更新講座講師。1964年玉川大学英文科卒業。早稲田大学英語専攻科卒業。玉川学園高等部にて英語教諭。カリフォルニア州立大学SF校にて修士取得。1979年、松香フォニックス研究所を設立。玉川大学英米文学科やリベラル学科で児童英語教育講座等、担当。1993年、オランダユトレヒト大学で小学校英語の研究に従事。現在、mpi松香フォニックス会長、J-SHINE理事、著書多数。専門はフォニックス指導、児童英語教育、小学校英語等。

講座
No.3

「旅」の歴史と「観光」政策 ～観光立国から観光大国へ～

國分 浩 駒沢女子大学 教授

2020年東京で2度目のオリンピックが開催されます。第1回目が開催された1964年は日本の観光産業にとって記念すべき年でした。東海道新幹線や高速道路の開通、大型都市ホテルの開業と並んで、海外旅行が自由化され誰でも海外旅行を楽しむことが出来るようになりました。しかし、今では海外旅行者数よりも訪日外国人の方が上回っています。そこには日本の「観光政策」が大きく関わってきたのです。

- 曜日 日曜日
- 時間 10:00～11:30
- 受講料 4,000円
- 会場 地域振興プラザ
- 定員 60名
- 単位数 1単位

日程	講座内容
第1回 4/17(日)	数字で見る観光 「観光」が与える様々な影響と効果とは？
第2回 5/15(日)	日本の観光政策 日本最初の「観光政策」は関所の廃止！
第3回 6/19(日)	旅の歴史とこれからの旅行 いつ頃から「団体旅行」は始まったのでしょうか？
第4回 7/17(日)	インバウンドがもたらす地域振興 多数の外国人観光客に地方を訪問して貰うには？
第5回 8/21(日)	旅行商品と賢いツアーの選び方 パッケージ旅行の「保証」や「補償」をご存知でしたか？
第6回 9/18(日)	2020年東京五輪に向けた課題 東京五輪までの宿泊施設不足の切り札は「民泊」！

講師 Profile

國分 浩 (こくぶ ひろし)

駒沢女子大学人文学部教授
1974年立教大学社会学部卒業後、
(株)日本交通公社(現JTB)入社。
2012年定年退職。同年より駒沢女子大学にて「観光学概論」「観光政策論」「旅行業概論」「観光事業論」等の授業を担当。

主な著書(共著)
「観光概論」(JTB総合研究所)

講座
No.4

「山菜」の食文化 ～見直そう自然食材・山野草～

杉浦 孝蔵 東京農業大学 名誉教授

我々は、健康で安全な生活を持続するには食・住・衣は必要不可欠な資源である。特に食物資源は生命維持の基本であると考えられる。人々は、より安全で安心な食材を求めて今日に至っている。自然食材である山菜とはどのような食材であるのか、野菜と比較して検討しその特性を述べ、山菜と我々の生活とのかかわりに触れ、今日に至ったかを述べたい。そして、我国各地に継承されている山菜の食べ方を紹介し、今後の対応を皆さんと考えたい。

- 曜日 日曜日
- 時間 13:30～15:00
- 受講料 4,000円
- 会場 地域振興プラザ
- 定員 60名
- 単位数 1単位

日程	講座内容
第1回 4/17(日)	山菜の大意 ①山菜とは②山菜の特性③山菜の地域性
第2回 5/15(日)	山菜と人とのかかわり ①山菜はいつ頃から食べた②食用・漢方薬としての利用 ③山菜利用の変遷
第3回 6/19(日)	山菜の七草文化 ①春の七草②夏の七草③秋の七草④冬の七草
第4回 7/17(日)	山菜の機能性 ①採取の喜び②自然食材との触れ合い③料理の喜び
第5回 8/21(日)	山菜の主な食べ方 ①旬を食べる②灰汁抜き③各地の主な食べ方
第6回 9/18(日)	山菜食文化の今日的意義 ①日本の食文化はこれで良いのか②食文化の体験は幼児から ③農山村と都市との交流

講師 Profile

杉浦 孝蔵 (すぎうら たかぞう)

農学博士、東京農業大学名誉教授。
1955年東京農業大学卒業、同年同大学助手、講師、助教授、教授、大学院指導教授。2002年定年退職、同年名誉教授。この間、玉川大学、中央大学、筑波大学、静岡大学の非常勤講師。現在は一般財団法人木原宮林大和事業財団常務理事、新潟県魚沼特使、山菜文化研究会会長。

専門は森林経営学、森林文化、山菜文化。
主な著書
「これからの山菜経営」(全国林業普及協会)
「山里の食べ物史」(創森社)

講座
No.5

遥かな「宇宙」 ～観測で深まる宇宙の謎～

平林 久 JAXA 名誉教授
(宇宙航空研究開発機構)

電波天文学が専門の講師が、まず光で見える宇宙とは異質の世界を紹介して、衝撃的な発見から宇宙の謎の深みにいざないます。また具体的な例として、野辺山での電波望遠鏡づくり、宇宙科学研究所の電波天文衛星「はるか」と、見えてくる極限の宇宙現象。それから私たちの宇宙が全体としてどのように理解されるかを考えます。さらに、そのような宇宙での生命、さらには文明の存在についても考えてみましょう。最後に、大切な宇宙と教育について触れたいと思います。

- 曜日 土曜日
- 時間 10:00～11:30
- 受講料 4,000円
- 会場 地域振興プラザ
- 定員 60名
- 単位数 1単位

日程		講座内容
第1回	4/23(土)	宇宙の拡がりからビッグバン宇宙へ ハッブルの法則まで、そして宇宙背景放射の発見
第2回	5/21(土)	電波の宇宙を眺める パルサーの発見、野辺に宇宙電波観測所を、クエーサー、VLBI
第3回	6/25(土)	銀河中心核の謎に肉薄する 電波天文衛星「はるか」、宇宙ジェットと巨大ブラックホール
第4回	7/23(土)	宇宙は何でできているか？ 原子論の歴史、宇宙と原子、核、暗黒物質
第5回	8/27(土)	宇宙と地球、人間との関わり 宇宙へ、環境、科学・技術・開発、戦争と平和
第6回	9/24(土)	宇宙における生命、そして文明 太陽系外惑星、地球外文明探査、私たちの未来

講師 Profile

平林 久 (ひらばやし ひさし)

1943年長野県生まれ。東京大学理学部物理学科、同大学院博士課程修了。理学博士。東京大学東京天文台で助手、助教として野辺山宇宙電波観測所で研究を送る。1988年に宇宙科学研究所に移り助教、教授として電波天文衛星「はるか」による国際スペースVLBI観測計画 (VSOP計画) の科学主任。2007年よりJAXA宇宙教育センター参与、センター長。現在、NPO「子ども・宇宙・未来の会」会長。

主な著書
 「星と生き物たちの宇宙」(集英社 共著)
 「観測がひらく不思議な宇宙」(東洋書店)
 「宇宙人に会いたい」(学研)

講座
No.6

未来の「治療」に向かって ～細胞レベルから遺伝子レベルまで～

多賀谷 光男 東京薬科大学 教授
柳 茂 東京薬科大学 教授

【前編3回】多賀谷 光男 東京薬科大学教授

私達の日々の生活は、敏速で確実な「物流システム」によって支えられています。生命の基本単位である細胞に目を向けると、そこにも複雑な「物流システム」がありオルガネラとよばれる細胞内の小器官の間で「荷物」が輸送されています。細胞内物流システムが破綻するとさまざまな病気が引き起こされることがわかっています。本講義では細胞内の「物流システム」と、その破綻によって引き起こされる疾患についてわかりやすく紹介します。

日程		講座内容
第1回	4/23(土)	生命科学の基礎 生命を構成する遺伝子、タンパク質、脂質等について解説します。
第2回	5/21(土)	細胞内の構造 オルガネラ(細胞小器官)とその役割について紹介します。
第3回	6/25(土)	物流システムの破綻によって引き起こされる疾患 生活習慣病としてよく知られている高脂血症(脂質異常症)は、細胞内の物流システムのトラブルから生じます。

【後編3回】柳 茂 東京薬科大学教授

私の研究に関連した3つのテーマでお話しします。まずはミトコンドリアです。不良ミトコンドリアは有害な活性酸素を撒き散らします。病気の黒幕はミトコンドリアだったので。私達の最新の研究成果を交えて解説します。次に、癌遺伝子研究の歴史と展開を紐解くことによって癌の本質を捉えたいと思います。最後に、アインシュタインを例に天才脳の正体や閃きとは何かを紹介し、精神疾患の病態と新たな治療法を紹介します。

日程		講座内容
第4回	7/23(土)	ミトコンドリアから探る3つのルーツ ミトコンドリアから生命のルーツ、人間のルーツ、病気のルーツを探ります。
第5回	8/27(土)	癌遺伝子研究の歴史と展開 癌は日本人の死因第1位の疾患であり、日本人の2人に1人がかかります。癌の本質とは何かを探ります。
第6回	9/24(土)	閃きとは何か? 天才の脳を科学する アインシュタインは子供のころ失語症だったと言われています。彼の死後脳から意外なことがわかってきました。

- 曜日 土曜日
- 時間 13:30～15:00
- 受講料 4,000円
- 会場 地域振興プラザ
- 定員 60名
- 単位数 1単位

講師 Profile

多賀谷 光男 (たがや みつお)

1958年群馬県生まれ。大阪大学理学部化学科卒業、同大学院理学研究科博士課程修了。大阪大学助手を経て、1994年東京薬科大学生命科学部助教、1997年同教授。

専門は細胞生物学。

主な著書
 「分子細胞生物学」(朝倉書店)

柳 茂 (やなぎ しげる)

1964年兵庫県姫路市生まれ。福井医科大学卒業。内科研修後、1992年福井医科大学生化学講座助手。1994年米国エール大学医学部に留学。2000年神戸大学医学部生化学講座助教授を経て、2005年より現職。2002年～2006年まで科学技術振興機構さきがけ研究員兼任。2004年日本生化学会奨励賞受賞。